

6

2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.2

FUJI GT 3Hours RACE GW SPECIAL

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3



VELOREX



RACING WITH FERRARI



2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.2 FUJI GT 3Hours RACE GW SPECIAL

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

大会概要

- 大会名称：2026AUTOBACS SUPER GT Round 2 Fuji GT 3Hours RACE GW SPECIAL
- 開催日：2026年5月3日（日）公式予選、4日（月・祝）決勝
- 会場：富士スピードウェイ（静岡県駿東郡小山町中日向694）
- 同日開催：2026 seven × seven FIA-F4選手権 第1戦・第2戦
- 主催：富士スピードウェイ株式会社 / FISCOクラブ（FISCO-C）/ 株式会社GTアソシエーション
- 認定：株式会社GTアソシエーション
- 公認：国際自動車連盟（FIA）、一般社団法人日本自動車連盟（JAF）
- 後援：経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/静岡県小山町/御殿場市/裾野市/
公益社団法人静岡県観光協会/一般社団法人小山町観光協会/一般社団法人御殿場市観光協会/
一般社団法人裾野市観光協会/テレビ静岡





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.2

FUJI GT 3Hours RACE GW SPECIAL

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+ O



ニクラス クルッテン
NIKLAS KRUETTEN

生年月日 2002年10月20日
出身地 ドイツ
身長 180cm
体重 78kg
血液型 RH+A

■ チーム体制

チーム名： VELOREX
車両名： UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3
カーナンバー： 6
タイヤ： 横浜ゴム株式会社
ドライバー： 片山 義章 / ニクラス・クルッテン
エントラント代表： 片山 義章
チーム監督： 小倉 啓悟
広報兼マネージャー： 塩田 裕子
レースアンバサダー： YUYU ・ AIKA
(VELOREX アンバサダーfrom CYBERJAPN)

■ レースアンバサダー



YUYU



AIKA(Rd.2より参加)





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.2

FUJI GT 3Hours RACE GW SPECIAL

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 予 選

天候 曇り

コース状況 ドライ

気温 21°C (GT300クラスQ1開始時)

路面温度 27°C (GT300クラスQ1開始時)

予選開始 14時20分 (GT300クラスQ1-A組開始)



新体制で挑むVELOREXに、予想外の試練を与えた富士の魔物。

Team LeMansは昨年度より正式にエントラント名をVELOREX に変更し、昨年引き続き、FERRARI 296 GT3を投入してSUPER GT GT300クラスに参戦する。同クラス参戦6年目となる今シーズンは、昨年に引き続きマシン名を「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI」とした。また2026年シーズンは、チームブランド『VELOREX』のロゴもよりスピード感とエッジを感じさせる新たなブランドロゴへと刷新。一方、ドライバーに関しては第1ドライバー片山義章を継続し、第2ドライバーにドイツ出身のニクラス・クルッテン選手を新たに起用。フレッシュなペアで今シーズンに挑む。エンジニアリング体制もより強化を図り、若手メカニックの登用や経験豊富なマネージャーの加入で勝利を目指すためのアグレッシブかつ細やかな体制を構築。片山義章がエントラント代表も兼任し、2025シーズンを上回る活躍を目指す。タイヤは、これまでどおりヨコハマタイヤを装着する。

今シーズンのSUPER GTでは、予選方式は昨年同様のノックアウト方式が採用され、GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組にわけられ10分間で予選Q1が実施される。予選Q2へは各組それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。予選順位はQ2のタイム順で決定され、19位以下はQ1で最も速いタイムを出した組の10番手が予選19位となり、以降遅い方の組の上位と交互に順位が振り分けられる。またGT300クラスは29台が参加する激戦となるため、昨年よりポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ一昨年より5ポイント増となった。それにより、これまでも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。GT300クラスは高得点順に7戦の合計でタイトルが決定される（マレーシア大会延期のため、今年は全戦加算）。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

予選結果：21位（予選Q 1:12位／ニクラス選手：1分36秒898／予選Q2：一／片山選手：不出走）

予選日の午前中は好天に恵まれ、気温、路面温度ともに予想外に上昇する状況の中、10時30分からSUPER GT第2戦の公式練習がスタートした。VELOREXは昨年のこのレースを制しており、2年連続優勝を目指して万全の体制で挑んでいる。しかし路面温度等の条件変化でタイヤとのマッチングが悪く、様々なセットアップ変更を施しながら29周をこなして1分37秒585をマーク。午後の予選までに更なるセットアップ変更をトライすることとなった。午後の予選は14時00分から始まり、UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはQ1グループAにニクラスが出走。マシンのバランスは好転したが、トップスピードの伸びがいまひとつで5周目に1分36秒898をマークしたものの、Q1予選A組の12番手タイムにとどまり、予選Q2への進出はならなかった。エース片山義章は悔しさを噛みしめながらも気を取り直し、エントラント代表として明日のレースに向けてチームの士気を高めた。





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.2

FUJI GT 3Hours RACE GW SPECIAL

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 決 勝

天候 晴れ
コース状況 ドライ
気温 24℃ (スタート時)
路面温度 43℃ (スタート時)
決勝レース開始 14時00分
(正式スタート時刻 14時06分57秒)
レース予定走行距離 3時間 107周
(正式フィニッシュ時刻 17時07分28秒710)



不本意な予選からポイント圏内目前まで浮上、しかし悪夢が襲う。

決勝日となった5月4日は事前の天気予報を覆す好天となり、おそらくシーズン最多記録となりそうな8万3600人(2日間)もの観客が富士スピードウェイへと足を運んでくれるほどの大盛況となった。12時30分から20分間のフリー走行が実施され、ふたりのドライバーが交互にマシンへと乗り込み合計11周をこなして1分38秒659をマーク。タイム的には21番手にとどまったが、ドライバーの片山によるとマシンのバランスは向上しており、気温、路面温度に対して最終的なセットアップをアジャストすれば万全の体制で決勝に臨めるとチームは自信を深めていた。

交通機動隊を先導としたパレードラップを含め、2周のフォーメーションラップの後、午後2時に3時間レースがスタートした。21番手グリッドからスタートしたニクラスは、序盤で2台に抜かれたものの、タイヤが温まってすぐに抜き返し、コンスタントなペースで前を行くマシンを着実にパス。しかしストレートスピードに勝る前のマシンを抜きあぐねた状況になった為、チームは予定より早めに24周で片山に交代させ、前が開けた状況の中、ハイペースで追いつける戦略に出る。26番手でレースに復帰した片山は、次第に勢いに乗り、スタートから1時間を過ぎた頃には11番手までポジションをアップ。途中、FCYが出され、それが解除された15時25分の段階でVELOREXは2度目のドライバー交代をすべく60周でピットイン。その際に左後輪が外れず、無線の混乱もあってそのままニクラスがレースに復帰してしまう。ニクラスは26番手で復帰し、20番手まで追いつけたところではあったが、タイヤバーストの危険があるため70周で再度ピットに呼び戻し、タイヤ交換を実施。そのタイムロスで勝負の権利を失ってしまった。気を取り直したニクラスは誰よりも速く走り続け、6号車UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは23位でチェッカーを受けた。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (片山選手 & ニクラス選手)

決勝結果：23位





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.2

FUJI GT 3Hours RACE GW SPECIAL

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆コメント



片山 義章 選手のコメント

昨年の富士大会で優勝を飾っていただけたに、万全の体制で臨んだレースでしたが、結果は厳しいものでした。予選では予想外に気温、路面温度が上昇し、タイヤがうまくコンディションとマッチングせず、ニクラスが頑張ってくれたのですが、Q1突破はなりません。一発の速さは無くても、ロングのペースは悪くなかったので決勝に向けていろいろ対策を練りました。決勝ではその成果もあって、レース序盤から中盤にかけては順調にポジションアップすることができました。ニクラスが前のマシンを抜きあぐねていたため、自分が早めの交代を申し出て、前がクリーンな状態でペースを上げる戦略に出ましたが、それが当たってポジションを大きく上げることに成功しました。オーバーが出てアンダーが出てマシンはとてもコントロールラブルでし、素晴らしいマシンに仕上げてくれたチーム全員に感謝しています。結果は悔しいですが、次戦も富士なので必ずリベンジしたいと思います。



ニクラス・クルッテン選手のコメント

公式練習から予選、決勝へとマシンのバランスは確実に向上していましたし、決勝の最後のスティントでは誰よりも速く走っていたと自負しています。予選ではマシンのバランスは悪くないのにタイムが出ないという厳しい状況でしたが、気を取り直して決勝に向けてエンジニアとミーティングしました。決勝はスタートドライバーを任せられ、スタート直後にポジションを落としてしまいましたが、すべて抜き返し、まずまずのペースで走れたと思います。あのまま行けば、絶対にトップ10フィニッシュは可能でした。自分にとって、新しいチーム、新しいマシンで迎えた今年のスーパーGTでしたが、今回のレースでスタッフ全員が一丸となって戦う素晴らしいチームだと再確認できました。タイヤが外れなかったことで、再度ピットインせねばならなかったのは不運ですが、それもレースです。次のレースも富士ですし、マシンもアップデートされると聞いていますので、8月が楽しみです。



小倉 啓悟 監督コメント

予想外に天気が良く、路面温度とタイヤのマッチングが合わなかったのか、予選では思うようなパフォーマンスが発揮できませんでしたが、Q1敗退はショックでしたが、決勝に向けて頭を切り替え、できる限りの対策は施せたと思います。決勝のペースはふたりとも素晴らしく、確実にポイントを獲得できる展開でしたが、2度目のピットイン時に左リヤハブのトラブルでタイヤが外れず、ピット側から見えなかったので交換したと勘違いしてコースに戻ってしまったのはコミュニケーションの問題を含め、見直さねばなりません。トラブルはさておき、最後のスティントではニクラスが誰よりも速かったので、我々のマシンにはペースがあることが再確認できました。しかし、予選で下位に沈んでも、長いレースでは強いチームが決勝で上位に来るので、我々も強いチームにならなくてはなりません。今回からスタンドにチーム応援席も用意されて励みになりましたので、次のレースは必ず勝利を狙います。





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.2

FUJI GT 3Hours RACE GW SPECIAL

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

UNI-ROBO

BLUEGRASS

WestCore

OIRC

ニチアス

TONE



zahren

MIDTOWN BBQ
STEAK & SMOKEHOUSE

EVER
CORPORATION

DOBOT

SEIHA



カトー機械株式会社

オカダキンジヤ

ヒロ デンタル クリニック

CLIMAX
SOFT99 autoservice

ASAHI 朝日金属株式会社



AOYAMA
ELEVATOR

中部総合監査法人

SANDISK™

AOI
TRUST
Co., Ltd.

MAITY



H&F

K KANETAKE

森吉物流グループ

JOTO DIRECT

慶知電線株式会社

見田工作

H&A
Human & ARTS

SASAHARA

4EAST

Digi-Tec
INTECNO

株式会社プロデュース

KOWA
株式会社 興和産業

TAKSEIDOBOKU Co., Ltd.

三浦電気株式会社
株式会社ナガラ
ホリオ工業株式会社
有限会社ます徳
東急建設株式会社
株式会社フクヤマ
有限会社野田商店
株式会社ウツノ
トーカイテクニカ株式会社
有限会社アイビー産業
大成ロテック株式会社
株式会社山陽セフティ
株式会社オーアンドケー
中部焼結販売株式会社
森工業株式会社
旭テクノプラント株式会社
山陽事務機株式会社
有限会社源森
株式会社キャムテック
有限会社満成鉄工所
旭日株式会社
トヨコンロジスティクス株式会社
浅野産業株式会社
株式会社トラストワーク
鍛冶島工業株式会社
株式会社モダン・プロ

株式会社みずしまモータース
株式会社SANWA
有限会社国司電器
田淵塗装
めぐみファーム
株式會社カンガイ
株式会社永遠輪
株式会社大下商店
永井建設株式会社

VELOREX



RACING WITH FERRARI